

地域版

SASEBO 99 Talk

M Cafe



# 令和6年度 車座集会 意見交換内容

日時	令和6年10月15日(火)14時から
場所	山澄地区コミュニティセンター 講堂
テーマ	・地域コミュニティのありかたについて ・ゴミ出しについて
出席者	地域参加者10名、市議会議員1名、市長ほか関係者5名 合計16名

佐世保市 市民生活部  
コミュニティ・協働推進課

# 令和6年度山澄地区 意見交換内容(要旨)

テーマ:地域コミュニティのありかたについて

## 地域参加者

- 空家が非常に多く、活用できる空き家はよいが、台風の時瓦が落ちてくるような家が何件かある。それが非常に危険であるため、早急に行政と一緒に取り組まないといけない問題と考える。令和5年度の12月に、法律の一部改正がなされた。その改正に基づいて、特定空き家、管理不全空き家、こういうものに指導が強くできるような法改正であったと思うが、行政としても何かしらもう一步踏み込んだところの指導ができるのではないかと期待している。
- 上下水道の老朽化が、最近非常に近所でも見かけることが多くなって危惧している。特にこの山澄地区は斜面地が多く、そういったところの上下水道が破裂する、漏水するといったことが増えてくると思う。いっぺんにまとまって出てくるわけではなくて、散発的に出てくると思う。そうすると非常にコストもかかる、障害が目に見えてきている。
- 民有地も含めて、急傾斜地の雑草、木などの伐採について、高齢化しており斜面地に上るとというのが危なくてできなくなっているため、市の方でそういう対策を考えていただけないか。例えば、建物だけでなく、斜面地の草刈りなども行政代執行でやっていただければありがたい。
- 雑草などをそのままにしておけば、実害として、蛇がでたり最近ではイノシシがでる、そこに住み着いてしまっている。もしそれで人的な被害が出た時に、その辺の草を刈っておけばイノシシのすみかにならずにすむんじゃないかというような地域の意見もでている。例えば、補助金が出せますよという制度でもあれば、それを使って業者なり、ボランティアなりに少しお金を差し上げてやってもらったりすることも可能かと思う。



# 令和6年度山澄地区 意見交換内容(要旨)

テーマ:地域コミュニティのありかたについて

## 地域参加者

- 交通難民者に何とか手を差し伸べられないか。  
佐世保市は75歳以上が4万人、敬老パス受給者が対象の54%、事業費4億3千万を支給している。長崎市は一律5千円、佐世保市も5千円にしたらかなりの費用が捻出できると思う。



2024.10.15 山澄地区



# 令和6年度山澄地区 意見交換内容(要旨)

テーマ:地域コミュニティのありかたについて

## 都市整備部長

- 令和6年3月末で市内に空き家がどれくらいあるかということ、4,981戸、約5千戸が市で把握している数。そのうち老朽といわれるいわゆる使えない状況であるのが973戸、約1000戸ほどある。山澄地区については同じ令和6年3月31日時点で空き家の数としては273戸、老朽が約48戸、これはあくまでも市が把握している数である。
- こういった空き家への対応としては、まず所有者への周知啓発をやっている。例えば4月に配布される納税通知書の中に、空き家対策の情報のチラシを同封し、佐世保市内に空き家をお持ちの市内外の方にも周知が可能となり、年間約8万通ほどを送付している状況。
- 所有者への助言・指導について、地域にいろんな影響をもたらす空き家については、法律に基づいて所有者の調査、指導を行っている。まず文書で連絡を求めて適切な管理を促すということをやっている。
- 空き家の相談について、様々な機関と協定を結んでいるので、例えば売買とか賃貸に関連するところであれば宅建協会、法律に関するところであれば弁護士協会や司法書士会を案内している。
- 空き家を市場に流通をさせたいというふうに考えている。また、老朽化してしまう前の段階で活用を推進していくということも取り組んでいきたいと考えている。これをやるために、ゼンリンと連携して、空き家の推定ツールというのを今研究をしながら作り上げているところである。これにより、一定の早い時期に使える空き家を把握することが可能になってくるのではないかとというふうに考えている。
- 他都市では、本市と同様に空き家の活用を前面に考えているところも多くあり、行政が得た情報をどうやって民間の方に流していくのか、ここを今後研究しているところである。

# 令和6年度山澄地区 意見交換内容(要旨)

テーマ:地域コミュニティのありかたについて

## 水道局次長兼課長

- 上水道について、6月12日に潮見町の汐見公園の方で破裂している。その二つの管については、昭和36年に敷設されて63年経過しており、口径は200ミリだった。約90世帯ほどの断水が2時間ほどあり、8月20日に140世帯の断水が約6時間ほどかかって修理を完了している。
- 市内の水道管の総延長は2,323キロあり、そのうち経年管いわゆる減価償却が済んでいるものが849キロある。率にすると36.55パーセントの経年管が現在市内には残っているという状況である。  
昨年度の老朽化の敷設替えにおいては約6.9キロ実施し、更新率は0.3%にとどまっている。
- 最近では管路の整備費用として、年間約20億円の事業を行っており、補助金や交付金が約5億円に対し、市費いわゆる負債14億円ほどを使用して敷設替えを行っているものである。  
なお、75ミリ以上の破裂は職員で修理を行い、年間50件くらい発生している。50ミリ以下は委託により行い、年間約500件ほどの破裂が発生している。
- 水道局としては、財源も厳しいことから、基幹管路、重要な管路を優先的に更新している次第である。



# 令和6年度山澄地区 意見交換内容(要旨)

テーマ:地域コミュニティのありかたについて

## 環境部長

- 草刈りについて、本市の土地であればすぐ行うが、民有地となるとなかなか手出しがしにくい。相談を受けたときには、可能な限り情報を追いかけて連絡を取り、周囲の迷惑等を説明し、草刈りをしてほしいとかいう話をしている。本市としても、環境保全、環境美化、衛生面の向上という点では、可能な限り相談に応じたいなというふうには思っている。



2024.10.15 山澄地区



# 令和6年度山澄地区 意見交換内容(要旨)

テーマ:地域コミュニティのありかたについて

## 市長

- 空き家については本市のみならず大きな社会問題となっている。国の方でも様々な法整備あるいは法改正ということが行われる中で、この空き家対策というものに取り組んでいる。地域としてもどのようにしたら有効に解決できるかという、空き家対策協議会をつくり対策を進めている段階である。
- また、空き家の情報をいち早く察知するために、ゼンリンと協定を結び、空き家の情報を整理し、利活用に繋げられるように今対策をとっているところである。
- 特に山澄地区においては斜面地であるがゆえ、空家の数というものも年々多くなっており、大きな課題である。  
今後も地域としっかり連携を取りながら進めていきたいと思っている。
- 上下水道の老朽化についても大きな問題だというふうに思っている。  
いざ漏水などが起こったり、水道管が破裂した時には早急に対策に講じ、市民の皆様方にできるだけ支障がないように思っている。  
いずれにしても、水問題というのは最重要課題の一つであるので、水源の確保も含め、政策を押し進めていかなければならないと考える。
- 斜面地・民有地を含めた雑草の伐採について、今各道路でも要望があがってきており、予算や人員等、課題がある中で、緊急性を有するものの対策に取り組んでいるところである。



# 令和6年度山澄地区 意見交換内容(要旨)

テーマ:地域コミュニティのありかたについて

## 市長

- 交通難民も全国的な問題で、公共交通については運転手不足ということで便数が減らされて利便性が悪くなるということを言われている。市政の最重要課題の一つだと捉えている。  
公共交通のあり方についても、活性化協議会で逐次検討しているところであるが、バスまたは鉄道というものの利便性をどうやって維持していくのか、そして生活環境というものを確保していくのか、ここが大きな課題であると思っている。  
市の中でも地域未来共創部を新設し、公共交通のあり方を検討を進めているところである。既に地域によってはデマンドタクシーやコミュニティバスといったものを導入し、地域内を運行するというような仕組みを進めているところである。  
日宇地区でも、すずかけという路線定期運行型乗合タクシーを導入し、運行がスタートしたところであり、地域によっては実証実験を進めながら、どうやって運行を継続できるのか、事業者の皆様方や地域の皆様方と十分に話をしながら、地域生活に大きな支障をきたさないように、公共交通の維持を図っていかなければならないと考えている。
- 敬老福祉パスについて、受益者負担、また自己責任というのにも必要じゃないかという話も一定数聞く。また一方では、このパスの役割というものはあるということを改めて感じている。  
利便性が下がってしまえば動く手段というものが無くなり、本末転倒の話になると思うので、この交通手段というものをどうやって確保していくかということを念頭におきながら、これからの交通対策というものに努めて行きたいなというふうに思っている。
- いずれにしても、地域の皆様方との連携なくして全ての課題の解決はできないので、引き続きのご指導とご支援をお願い申し上げたいと思う。

# 令和6年度山澄地区 意見交換内容(要旨)

テーマ:ゴミ出しについて

## 地域参加者

- この地区は最近特に、外国人の方がたくさん増えてきている。この地区内には日本語学校もある。今後の課題としては、いわゆる不法ポイ捨ゴミと、知らないで捨てる人がいると思うので、例えば看板、警告板を、インパクトのある、共通性のある、日本語、中国語、韓国語、英語で書くとか、イラストで描くとか、山澄地区だけでも作っていったらどうかと思う。それぞれの町内の枚数によっていくらか出すとか、市からも3分の1くらい出していただくとか、そういう掲示板ができたらいいいのかなと思う。
- 一番困るのがゴミの収集じゃないところにゴミを出すこと。  
現実にはネパールの人とかミャンマーの人とかそういう東南アジアの人とかがだんだん増えてきている。  
例えば、日本語学校とか短大とか大学とかに、彼らの母国語で分かるようなものを作成して、大学を通じて渡すということができないのかなと思う。
- 生ごみのリサイクルというのを先に検討されることはあるか。



# 令和6年度山澄地区 意見交換内容(要旨)

テーマ:ゴミ出しについて

## 地域参加者

- ゴミ出しについて一番困っているのは、期日を守らないであるとか分別をしないであるとか、そういったものの徹底が十分にできていない。そういった人に対してどんなアプローチをしていくのか考えていくと、ユーチューブであるとか、子どもさんへ啓発のビデオみたいなものをあげるとか、テレビの中で佐世保市でこういった取り組みをしていますよとタレントに伝えてもらうとか、いろんな人にその啓発をお願いするとかいうことも必要ではないかなと思う。  
ルールはあるけれど、それが法的に正しいのか裏づけとして非常に大事なことだと思う。それが私たちも十分に理解できていないところがあるので、市の方にはそういった研修会についてもぜひ機会をもっていただきたい。何を根拠に我々は指導ができるのか、またそれを持ち込む人に対して拒否ができるのか、そういったことも非常にはっきりしない。だから困っている。そういった根拠となるところの知識をはっきりと身に付けたい。
- 町内に米軍の方がいるが、きちっとしておられる。クリーン推進員として分別の間見ていると、やっぱり悪いのは・・・日本人。町内の方があれだけ分別して出してと言っているのにしていない。クリーン推進員については、ちゃんと環境部からの研修がある。それでどうしたら町内の人にはっきり徹底して言えるのか常に悩んでいる。ひどい人は、町内会費をもらっていない人はゴミを出させるなという。日本人に徹底して教育するのがまず先だと思う。



# 令和6年度山澄地区 意見交換内容(要旨)

## テーマ:ゴミ出しについて

### 環境部長

- 生ごみのリサイクルは過去に家庭向けの補助金があった。補助額は2,000円ほどで、畑かどこかでリサイクルをするようなものだった。臭いの問題をクリアできなかったとかがあり、現在は無くなっている。
- 生ごみを減らすことが一つの大きな課題になるので、具体的に検討する時期が来るのかもしれないなというふうに感じているが、現時点では、まだ検討していないというところが正直なところである。
- 看板については、フリー通信とかが要望を受けたりして、又は市の指導員が承ってきて、相談しながら作っていく。その結果、地域によって少し異なるものがある。  
提案いただいた、イラストだとかは市も可能な限りはできると思う。今実施しているのは、パソコンを使って自前でできる分ということで、広告店などに頼むまでには至っていない。  
様々なアイデアをいただいて、できる範囲で対応していくのは可能だと思っている。
- ゴミの出し方について、大学とか短大には協力を得て説明会を開催している。その他の学校にも必要に応じて対応しているし、自衛隊も、隊員が不法にゴミを出したというのがはっきりわかれば、総監の方に強く指導していただいたりとかいうふうにしている。  
米軍もそういった形でやっているのでも、まだ不足している点があれば、また教えていただき、可能な限り対応していきたいと思っている。
- ゴミカレンダーなども大学に渡してる。今はマンマー語版も作っており、6か国語か7か国語のカレンダーを作っている。  
マンマー語版は短大から提案をいただいて作っている。他にもそういうものが必要であれば対応していくことは可能である。
- 収集日じゃない時にゴミが出たときには、指導員がいるので、ゴミが出ている場所等を教えていただくと、その日に収集するかは状況を見ながらということになるが、確認をさせていただいて対応を考えていくというふうにしたいと思う。

# 令和6年度山澄地区 意見交換内容(要旨)

テーマ:ゴミ出しについて

## 環境部長

- いろいろな提案について、反省をしながら今後に向けて頑張っていく。  
研修会は、クリーン推進員向けにはやっているが、各町というか自治会関係というのはやれていないので、今後そこは一つの課題かなと思う。



2024.10.15 山澄地区

# 令和6年度山澄地区 意見交換内容(要旨)

テーマ:ゴミ出しについて



2024.10.15 山澄地区

## 市長

- 今、地域の方の課題となっているのは、やはり外国人との共生だと思う。山澄地区に外国人学校があることは知っていたが、多くの方がこの地域に居住をされているということの報告を受け、真に国際社会が進んでいるなと思う。今後こうした方向性というのはたぶん進んでいくだろうし、また実習生・就業者なども充実されて、外国の方が年々増えていくということを思っていないといけない。そうした中でどうやって外国の方が安心して暮らせるのか、また既存の住民の皆様方の不安がないような地域をどう作っていくのかというのが、極めて重要な課題だと思う。そこはやはり行政がしっかりと架け橋となりながら、トラブル等がないように、また信頼が高まるように、いろいろな仕組みというものを作っていくたいと思っている。提案を含めていろいろと意見をいただいたので、しっかりと担当部署に持ち帰り、前向きな検討をさせていただきたいと思う。

# 令和6年度山澄地区 意見交換内容(要旨)

テーマ:その他

## 地域参加者

- 7月10日頃の新聞に、全国的なインフラの整備で下水道が23年3月で8%くらい期限を過ぎているとあった。佐世保市でも同様に維持管理ができないという状態に思われる。下水道に限らず、水道、道路、河川施設とか港湾施設とか。例えば栈橋とかはもう50年以上経っている。台風とか津波とか佐世保市は少ないが、怠ったら大変なことになる。その辺は充分調査を行って、先手先手で補修をしていただきたい。
- この地域は坂が多く、高齢者も多くて、先日もゴミ捨てに行った帰りに階段で転んだというのが2件ほど起こっており、階段とその関連のところ3箇所、手すりを設けたいと相談があった。昔は補助を受けるのに3年くらいだったのが、最近は5~6年待ちですという話を聞いてびっくりした。要するに70歳以上の人は、ゴミ捨てに行くのに手すりが必要なのに、5年6年も待っていたら役に立たない。3割負担を5割に上げてもらって構わないから、2~3年で補助ができるようにしていただけないものか。
- 公民館の横に急傾斜地があって、そこで土砂崩れが起こった。県に申請して許可がきて、最初は3年待ちですといわれた。実際には7年もいくらも経って、昨年度やっと順番がきて、今年度工事にかかるとの説明があった。しかし9月を過ぎてもまだ何もない。どうなっているのか。町内の方からどうなったと質問が出てくる。都合が悪ければ音沙汰無し。



# 令和6年度山澄地区 意見交換内容(要旨)

テーマ:その他

## 地域参加者

- 駅の前にタバコの吸い殻がいっぱい散らばっており、喫煙所を設けたいので白南風町の同意書が必要だと言われた。設置しても管理ができないと周囲の人が迷惑するので、管理マニュアルをつくって説明に来てくださいと言ったら、業者が決まらないうと基準ができないという返事があり、その後ひと月くらい音沙汰無し。
- うちの町内会は車が入らないところが結構多くて、歩いていけないといけないので、だんだん人が住まなくなっていく。老朽化して危険でも解体費用が高いのでなかなか取り壊せないというところがどんどん増えていっている。そういうところに大きな屋外のエレベーターをつければそれだけで大きく変わるところもあると思う。このまま放置していくと、車が入らないところは、非常に老朽化した建物が増えていって、空き家が増えていってよろしくないと思うので、そういった検討もしていただけたらと思う。
- 学校の問題で、ここの地域を統合するといったら、山澄と福石と崎辺。この3校の中学校のひと学年があわせて大体200人前後。200人前後の子どもたちをクラス分けしたら、だいたい6クラスくらい。6クラスに対して今学校が3校あるのでこれを統合するといったら、やっぱり最低3クラスは1学年にいないと学校ってなかなか機能しない。一つの学校が3×3の9クラス。この3校を2校に統合すれば何とか3クラスという規模を保ったままあと何年かはやっていけると思う。これをやらないと、部活動も何もできなくなるので、3校とも共倒れ。学校が小さくなるとクラス替えができない、したがっていろんな問題が発生する。担任を替えたり、担当を替えたり、友達を替えたり、そういうような自由度がどんどん少なくなっていく。教育委員会も当初は、この中学校3校を2校に統合するという案だった。それが総合的な判断で3校を残すとなった。そこのところをぜひ再考していただきたいと思う。



# 令和6年度山澄地区 意見交換内容(要旨)

テーマ:その他

## 市民生活部 副部長

- 館長の話で、市役所からの反応がないといったところは、担当部署につなぎたいと思う。



2024.10.15 山澄地区

## 教育総務部長

- 元々崎辺と福石を一つにして、崎辺の方に一つ大きな学校を作り、山澄はそのまま3つの小学校が集まるというのが第1案だった。  
さっき話があったように、南地区のところから福石小学校、福石中学校がなくなるということで、やはりこれはこれで地域のシンボリックがなくなるということがあった。  
そのため、次善の策というか、手続きのところしていくと、最終的には教育委員会が決め、審議会に諮問をするという話になるのだが、そこに行き着くまでには地域の方々と意見交換をしながらということになる。
- 山澄地区は非常に健全育成会の活動も活発にされていて、理解が深いところだと思うし、そういったところの皆様としっかり話をし、理解を得ながら進めていきたいと思う。



# 令和6年度山澄地区 意見交換内容(要旨)

テーマ:その他

## 市長

- 山澄地区は佐世保の中心であり、佐世保のいろいろな歴史やこれまでの流れを踏まえた地域であるということを改めて感じたところである。その象徴的な地域でもある山澄地区なので、やはり皆様方の生活・地域の環境というものが少しでも良くなるようにという思いを、皆様方と共有をしながらいろいろな施策に臨んでいきたいと思う。
- これからもいろいろな課題があれば、自治協を通じても結構であるし、直接担当部署にも伝えていただければ幸いである。
- 特に、最後、副館長から話をいただいた学校統合計画についても、やはり地域の皆様方のご意見をお聞きをしながら、拙速にならないように、十分な話を聞きながらやっていく。
- これからの佐世保市は大きな飛躍の時であり、また正念場の時であるというふうに、改めて私も肝に銘じながらこれからの市政の様々な課題にあたっていきたいと思っているので、どうぞ引き続きのご指導とまた協力を賜りますことを切にお願いします。

